



発行番号	発行日	発行者
Vol. 18-03	2017年11月06日	全損保 ニューインディア分会 執行部

浅岡さん「雇止め裁判」第3回口頭弁論 特集

11月2日東京地裁にて第3回口頭弁論が開催

会社側から浅岡さん業務復帰の提案

和解に向けた解決交渉へ 一歩前進か！？

● 従業員の声インド本社に届く！！

インド本社より前支配人が来日、業務体制強化のため、浅岡さんを会社へ呼び面談、業務復帰の意思を確認。

日本支社における現行業務の問題を確認するため、10月23日より、前支配人（現海外駐在所統括責任者プラダーン氏）がインドより来日、各部門の問題点について従業員から意見聴取が行われました。

この中で、前支配人は、浅岡さんの「雇止め」の結果が、業務へ大きな影響を及ぼしているとの従業員の声から、10月26日、浅岡さんおよび既に退職した女性社員1名を会社へ呼び、復職への意思確認が行われました。

（浅岡さんの会社への回答）

- ・ 業務復帰のため裁判を起こしているのだから、復帰については問題ない。
- ・ 解決に当たっての条件は、弁護士に委任しているため、弁護士間で話し合いを願いたい。

● 裁判は

第3回口頭弁論は、原告（浅岡）側の傍聴人は、前回の26名をさらに上回る29名となり、傍聴席20席は全て埋まり、前回同様法廷内へ入りきれない状況となりました。

原告（浅岡）側は、この傍聴人29名と東京法律事務所の加藤弁護士、川口弁護士の2名の先生で、被告（会社）側の弁護士に臨みました。

● 裁判の内容

今回の裁判は、被告（会社側）より準備書面が用意されたものの、その内容には今回の業務復帰の内容が入っていない。このことから、加藤弁護士より浅岡さん復帰に関する被告側の対応について和解の検討が考えられるのではとの質問。これに対し、被告弁護士より、インド本社の介入による、急な展開で社内も混乱しているとの事。和解を前提に再度会社側の対応について確認を行うことになりました。

今後は弁護士間での話し合いを進め、11月17日（金）東京地裁で非公開の場（弁論準備手続き）での和解交渉を進めることとなりました。

【傍聴人参加の支部および分会】

・全損保本部 ・日動外勤支部 ・共栄支部 ・三井住友支部 ・富士支部 ・あいおい外勤支部 ・ゼネラリ分会 ・日本興亜支部 ・損保ジャパン支部 ・元NIS分会 ・元R&S支部 ・金融共闘 ・ニューインディア分会 ・その他

※全損保本部・各支部・分会からは、不当な「雇止め」・「中高年の雇用問題」でたたかう、ニューインディア分会および浅岡さんへの力強い支援をいただきました。



827号法廷前

裁判終了後
報告会



●ニューインディア分会の今後の取り組み

ニューインディア分会は、今回の内容を踏まえ、1日でも早い浅岡さんの業務復帰と今後の労働契約法および就業規則違反による不当労働行為をなくすため努力します。

健全な保険会社としての業務を取り戻し、社員一人ひとりの生活を守り、人間らしく働ける職場をつくるため、全損保本部および各支部と連携し、たたかってまいります。

まだ、会社側の正式回答は出ておらず、解決に至ってはおりません。

ニューインディア分会は、今後の交渉経緯を注視し、引き続きこのたたかいを進めます。
労働者の権利を勝ち取るために、皆様のご協力をお願いします。

●支援カンパの取り組み

全損保では、「外資系損保における雇用問題」に対し、ニューインディア分会とゼネラリ分会を支えるため、支援カンパの取り組みをおこなっております。

※ このカンパにより、浅岡さんが本部オルグを利用し、ニューインディアの全支店を回り、各支店営業所の支援をお願いすることができました。

(カンパ口座)

名義 : 外資のたたかいを支援する会 代表 うらかみよしと 浦上義人
番号 : 中央労働金庫 日本橋支店 (普通) 151073



●組合へ加入のお願い

ニューインディア分会は、組合員拡大に向けた取り組みを行っています。

- ・働く仲間の雇用に対する不安を払拭し、健全で働きやすい職場作りに奮闘します。
- ・会社に不安のある方、疑問のある方は、役職に関わらず左記担当者にご相談下さい。

情報・意見・相談があれば連絡下さい

全損保ニューインディア分会

- ・委員長: 山口(札幌)
- ・書記長: 澤田(広島)
- ・事務局: 鴛海(東京) 山田峰生(東京)

全損保本部書記局

TEL: 03-5551-7131 FAX: 03-3551-8130
Mill: info@niu.or.jp